

園生活の一日

『おはよう！』から『さようなら！ またあした』までの子ども達の園での一日はどんな様子なのでしょう

園生活では個々の遊びと共に集団の活動(一斉保育活動)も大切にしています。一日の中で元気いっぱい遊ぶ時があれば、みんなで絵を描いたり、製作をしたり、歌や合奏の音楽の活動もします。また、年長は自分達の生活の場である園舎のお掃除をしたり、うさぎの世話等の当番係りの活動もします。一日の中でもいろいろなことが経験できるよう計画されています。

9:00

子ども達の登園、子ども達はお母さんと一緒に、また、通園バスから降りて元気に門を入ってきます。その日の期待感が膨らみます。

9:30

通園バスも到着し、徒歩通園児もみんな登園して出席ノートへシールを貼ります。カバンと帽子を所定の場所に掛け、一日が始まり、個々の遊びも始まります。

10:10

課題がある時は集団での活動(一斉保育)が始まります。同じ経験をするとは大切なことです。これは、他児と同じことをやるというより、同じ経験をすることによって友達意識が高まって行くことも大きなねらいの一つだからです。
特に課題が無い時は活発な遊びが展開されます。

12:00

お弁当は子ども達の大変な楽しみのひとつです。社交の場でもあり、大切にしたいひと時です。
お弁当が終わり、みんなで『ごちそうさま』をするとそれぞれの遊びが始まります。

13:00

お当番係り活動は年長の子ども達の仕事です。
園庭や園舎の廊下の掃除も係りの仕事です。自分達の生活の場は幼児なりにきれいにします。

13:40

降園前の時間も大切なひと時です。担任は一人一人の子どもの表情をチェックし、その一日が満足した一日であったか、また明日も園に来たいと感じているかを確認します。
絵本や紙芝居を読んでもらい、ふれあいのひと時です。

14:00

子ども達は通園バスの子ども達と手を振り合い、保育室でお母さん、お父さんの迎えを待ち、帰宅します。

